

# JIS

## 情報技術－ペンベースインタフェース－ ペンベースシステムにおける テキスト編集のための共通ジェスチャ

JIS X 9302 : 2005  
(ISO/IEC 14754 : 1999)  
(JBMIA/JSA)

平成 17 年 11 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 情報技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	石 崎 俊	慶應義塾大学
(委員)	浅 野 正一郎	国立情報学研究所
	伊 藤 章	財団法人日本規格協会
	伊 藤 文 一	財団法人日本消費者協会
	岩 田 秀 行	日本電信電話株式会社
	大久保 彰 徳	社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
	小 川 義 久	財団法人日本情報処理開発協会
	笥 捷 彦	早稲田大学
	河 内 浩 明	社団法人電子情報技術産業協会
	後 藤 志津雄	株式会社日立製作所
	小 町 祐 史	パナソニックコミュニケーションズ株式会社
	関 根 千 佳	株式会社ユーディット
	田 中 謙 治	総務省
	中井川 禎 彦	総務省
	中 村 泉 之	日本銀行
	成 田 博 和	富士通株式会社
	平 野 芳 行	日本電気株式会社
	伏 見 諭	社団法人情報サービス産業協会
	藤 村 是 明	独立行政法人産業技術総合研究所
	宮 澤 彰	国立情報学研究所
	山 本 泰	日本アイ・ピー・エム株式会社
	山 本 喜 一	慶應義塾大学
	渡 辺 裕	早稲田大学

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 17.11.20

官 報 公 示：平成 17.11.21

原 案 作 成 者：社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会

(〒105-0003 東京都港区西新橋 3-25-33 NP 御成門ビル TEL 03-5472-1101)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：情報技術専門委員会 (委員長 石崎 俊)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット情報電気標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会(JBMIA)／財団法人日本規格協会(JSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

制定に当たっては、日本工業規格と国際規格との対比、国際規格に一致した日本工業規格の作成及び日本工業規格を基礎にした国際規格原案の提案を容易にするために、**ISO/IEC 14754:1999, Information technology—Pen-Based Interfaces—Common gestures for Text Editing with Pen-Based Systems** を基礎として用いた。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任をもたない。

## 目 次

	ページ
序文.....	1
1. 適用範囲.....	1
2. 適合性.....	1
3. 引用規格.....	1
4. 定義.....	1
5. 記号の説明.....	2
6. 必ず（須）ジェスチャ命令.....	2
6.1 選択.....	2
6.2 消去.....	3
6.3 空白挿入.....	5
6.4 改行.....	6
7. 条件付き機能のための必ず（須）ジェスチャ命令.....	7
7.1 バッファを必要としないジェスチャ命令.....	7
7.2 バッファを必要とするジェスチャ命令.....	8
8. 必ず（須）機能のための条件付き必ず（須）ジェスチャ命令.....	10
8.1 スクロール.....	10
8.2 アンドゥ.....	11
解 説.....	12

# 情報技術—ペンベースインタフェース— ペンベースシステムにおける テキスト編集のための共通ジェスチャ

## Information technology—Pen-Based Interfaces—Common gestures for Text Editing with Pen-Based Systems

**序文** この規格は、1999年に第1版として発行された **ISO/IEC 14754**, Information technology—Pen-Based Interfaces—Common gestures for Text Editing with Pen-Based Systems を翻訳し、技術的内容及び規格票の様式を変更することなく作成した日本工業規格である。

近年、多数のペン入力モードをもつシステムが商品化されている。これらのシステムは命令としてジェスチャを認識するが、これらのジェスチャはシステムによって異なる。特に、これまでテキストのレイアウト又は内容を変更するため使われたジェスチャは、システムによって差異が大きい。

この規格の目的は、基本的なジェスチャの組を標準化し、それによって使用者が、その国又は製造業者にかかわらずシステムを操作できるようにするものである。これらのジェスチャの利点は、位置表示とその位置の対象物に実行される操作の表示とが同時に実行されることである。このような機能を表示するために選ばれるジェスチャは、最も一般的に使われる。これらがこの規格に含まれるジェスチャである。この規格は8箇条の構成で、二つのタイプの要求機能及び幾つかの任意選択機能のための命令を含む。

**1. 適用範囲** この規格は、ペンベースシステムでテキスト編集のための基本ジェスチャ命令について規定するとともに、これらの命令をシステムに実行させるために必要な使用者操作について規定する。また、ジェスチャ命令が正しく認識されたときの使用者へのフィードバックについて規定する。ただし、この規格は、文字入力のために必要な使用者操作については規定しない。

**備考** この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、**ISO/IEC Guide 21** に基づき、IDT (一致している)、MOD (修正している)、NEQ (同等でない) とする。

**ISO/IEC 14754:1999**, Information technology—Pen-Based Interfaces—Common gestures for Text Editing with Pen-Based Systems (IDT)

**2. 適合性** この規格の **6.**, **7.**及び **8.**箇条に適合するシステム (適合システム) は、この規格に適合する。

**3. 引用規格** この規格の引用規格はない。

**4. 定義** この規格で用いる主な用語の定義は、次による。